



日本人は劣化したのか？

文明と文化の視点で考える

るハマス対イスラエル戦 産業面では長年一流国と 争も深刻化の様相を呈し 自負してきました。「ジ ています。また今年、 ヤパン・アズ・ナンバー 米大統領選（11月）をば ワン」などという本（エ じめ、多くの国で重要な ズラ・ヴォーゲル著、1 国政選挙が予定されて 979年刊）が持てはや 観的な予測も聞かれま あり、その結果いかにに された時期もありまし す。

比較リストで日本の大学 は今や中国、シンガポー ル、韓国などより下位に ランクされる場合が増え ているし、各種の国際会 議などにおいても日本人 の活躍する場面が以前に 比べて大幅に減ってきて いるような印象を受けま す。国際会議の場合、相 変わらず英語での発言力 が弱いからだとも考えら れますが、それだけでは なさそうです。

文明と文化の違い

そもそも日本人が「劣 化」という場合、いつ の時点を基準として劣化 したのか。また劣化とは具 体的にどのような形で表 れているかを考えてみる 必要があると思います。

そこで、やや遠回りにな りますが、議論の前提とし て、国家や民族の「文化」と「文明」の違いという 視点からまず考えてみた いと思います。といつて も、ここで「文化」と「文 明」の違いを哲学的に深 く考察するつもりはあり ません。（2面に続く）

よって世界情勢は大きく 変わる可能性がありま す。

低下する日本の プレゼンス

今年は元日に能登半島 地方を最大震度7の大地 震が襲い、甚大な被害を もたらし、翌2日には羽 田空港で被災地へ救援物 資を運ぶ海上保安庁機と 日航機との衝突炎上事故 が突発するなどの衝撃的 な惨事が相次ぎ、新年 早々から社会不安が高ま っています。

このような不安と激動 の世界にあつて、日本は 今後どう対応していくべ きか、どのような役割を 果たしていくべきかが問 われています。それに つけても気になるのは、 近年、日本の国際社会に おけるプレゼンス（存在 感）が徐々に減少してい るということです。

戦後の日本は軍事、政 治面ではともかく、経済、

た。ところが、バブル崩 壊後の「失われた30年」 を経て、経済的地位も低 下し、いまや名目GDP でドイツに抜かれ、いず れインドにも抜かれて世 界第5位に転落する見通 し。人口一人あたりの名 目GDPでも、22年はOECD（経済協力開発機 構）加盟国38のうち21位 まで下落しました。これ は田安のせいもあります が、日本経済自体が衰弱 している結果であること は否めません。

経済以外の分野でも科 学技術、情報化などの分 野での低迷、衰退が目立 ち、日本は明らかに一流 大学の国際

そしてそ の原因は、 日本人の 「基礎体力」 が基本的 に 低下してい るからだ、 もつとはっ きり言え ば、日本人 自身が「劣 化」してい るからだと いう自嘲 的、自虐的 な見方が増 えているよ うに感じま す。確かに、 大学の国際



日本の名目GDPが世界4位になる と発表したIMF（国際通貨基金本 部）米ワシントンで（AFP時事）

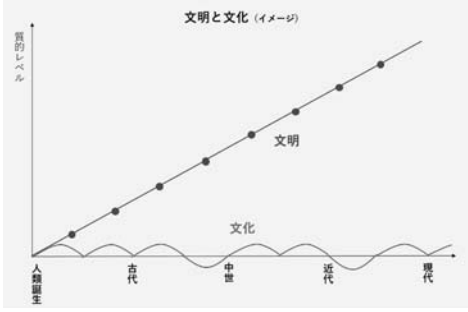
令和つれづれ札草

金子熊夫

実は、私が高校生が大學生の頃読んだ本の中で、和辻哲郎（1960年没）という有名な哲學者の学説がいまでも記憶に残っています。本の題名は忘れませんが、彼はこんな趣旨のことを言っていました。

すなわち、「文明」は、具体的かつ客観的に記録されるので、古い時代に発明・発見されたものでも、後世の人に正確に継承されることが可能である。それに対して、「文化」は優れた属人的なもので、その人が死んでしまえば、その子孫や弟子でもそのまま継承することはできない。したがって、「文明」は、先人の業績をベースに後継者はそこからさらに積み上げ、発展させていくことができるが、「文化」は、それができないから、後継者は自力で最初からやってみる以外になく、よほどの才能がなければ、いくら努力しても先人の到達したレベルを超えられない。

これを図式化して言うところ、文明のレベルは右



文明と文化

肩上がりに着実に上昇するが、文化はいつもゼロに近いところからスタートするので、時にはマナー成長ということになる。これが劣化である。何分にも大昔に読んだ本なので、和辻学説を正確に引用したわけではなく、私が勝手に今風に拡大解釈したのですが、念のために、簡単な概念図にしてみました。

ハードとソフト

さらに別の言い方をすると、文明はハードウェア的なもので、文化はソフトウェア的なものといえるかと思えます。例えば、私たちが数十年前まで使っていたラジオ、レコード（蓄音機）、有線電話は廃れ、今や完全にテレビ、パソコン、CD、スマホ（携帯電話）に取って替

わられ、音質も画質も飛躍的に進歩しています。しかし、その最新型テレビで日常的に流れてくる情報や娯楽番組のレベルとなると、全く進歩してないどころか退化しているのが現実ではないでしょうか。はつきり言ってしまうと、大半が低俗で、とても文化的とは言えないようなものが氾濫しています。

昔のラジオ、レコードやテレビ（モノクロ）はハードウェアとしてはお粗末でしたが、中身の質には遥かに上品（高級）だったと思います。映画やテレビドラマにしても、昔のものはストーリー的には単純（ナイーブ）でしたが、立派な内容のものも多かったように思います。

それに比べ、最近の状況はどうか。たとえば電車や地下鉄に乗った時など、若い乗客のほとんどが一心不乱にスマホをやってるので、相手に気づかれないようにそれとなくのぞいてみると、たいていゲームかそれに似たようなことをやっているようです。単なる時間潰しで、他人に迷惑をかけていないのだからよいではないかと言われればそれまでですが、それにしても大変な時間と知的エネルギーの浪費ではないかと思ってしまう。もっともこれは、私のようなアナログ人間の偏

見、ひがみだと言われればそうかもしれない。しかし、車内で文庫本を読んでいる文化的教養があり、ゲームばかりやっていれば低俗で、墮落しているかを決めつるつもりはありません。

政治家の劣化

とくにひどい

いづれにせよ、一代以上前の日本人に比べると現在の日本人（中高年者を含む）が総じて、平和ボケしてきて、覇気に乏しく、人間的に劣化しているような気がするのには確かだ。私のような化石人間の高齢者としては、こんなことで将来の日本

日本人は劣化したのか？

はどうなるのか、他国に伍していきけるのか、憂慮に堪えないところ。このことは、とくに日本の政治家の質について言えるのではないかと思えます。

大分昔のことですが、私が久しぶりに海外勤務から帰ってきて、テレビで政治家が話しているのを聞いて、ひどく気に入らないうことをやっていたように思えます。それは「何々させていたたく」という言葉です。例えば、「私が大臣をさせていたいたした時に、何々の政策を決定させていたいた」という風な言い方です。誰が最初にこの表現を使い出したか判然としませんが、どつやら「言明瞭、意



ウィンストン・チャーチル (ウィキペディアから)

味不明」と評された竹下登氏（元首相）などが国会で多用したのが始まりではないか。なせもことはつきり、自信をもって「私が大臣をしていた時に、何々の決定をした」と言わないのか。今では、この表現は政治家だけでなく広く一般的に使われています。ご本人たちは謙虚な、卑下した気持ちで言っているのかも知れませんが、いかにも責任逃れか、大衆迎合的で、不愉快に感ずるのは私だけでしょうか。

ついでに言わせてもらえば、不祥事があった時に、大企業のトップがテレビ会見で、雁首そろえて深々と頭を下げて謝罪するのを見ていて気持ちよいものではないかもしれません。本言に謝罪する気持ちがあるのなら、責任をとって潔く辞職するのが筋です。テレビカメラの前で、不特定多数の人々に対し頭を下げるという珍妙な風習は昔は無かったはずだし、日本以外の国では見られないことでも、知り合いの外国人に聞こえたりも大に違和感を感じます。これもまた日本人の劣化の一例ではないでしょうか。

法について。よく若い人たちの会話の中で、「……とか」とか」というのを耳にします。例えば「本とかを読む」「散歩とかに行く」というように。これもはつきり断定するより適当にぼかした方が無難だという日本人特有の感性のせいなのでしょうが、昔は無かったことで、これも日本語の劣化の一種であると同時に、日本人の精神的劣化を示すものではないかと思えます。

最近の意味不明のカタカナ文字（「タイパー」「コア」「ステマ」等々）の氾濫や会社名をアルファベット3文字で表記する傾向などについては、「劣化」以前の問題で、嘆かわしい限り。日本語で表現しようと努力する姿勢が決定的に欠如しているかと思えます。母国語を大事にしない民族は早晩滅びるといふ警句があることは、存じの通りです。

民主主義と政治家の品質

さて話を本筋に戻して、日本人は本当に劣化したのか。劣化したと

最後、やや蛇足めきますが、私は決して日本の将来を悲観しているわけでも、現代の日本人若い人を含む）が他国との比較で本質的に劣化していると考えているわけでもありません。仮に多少劣化してきているとしても、いずれどこかで覚醒し踏みとどまって、再び日本民族の底力を発揮してくれるだろうと信じています。ただ、日本がアジアで唯一の先進国であるには、民意に逆らうような得策と考えているようでは、あまり長い厚層は禁物だと考えております。

元外交官。ハーバード大学法学大学院卒。元国連環境計画（UNEP）アジア太平洋地域代表、元外務参事官。退官後東海大学教授。現在はエネルギー戦略研究会会長のほか、外交評論家として活躍中。新城市出身、87歳。

には、迂遠なようですが、まず民意の向上こそが必要です。

現在一部の強権国家を除き、大多数の国で民主主義制度が採用されているの、多少の違いはあるものの、その基本は選挙です。かつてチャーチルは「民主主義は最低の制度だ。ただし、それ以外のすべての政治体制を除いて」と喝破しましたが、民主主義を生かすも殺すも有権者である国民だということこそを再認識せねばなりません。

日本人よ早く覚醒せよ